

# Think hard ! Try hard !

2020・11・3  
石川県立小松明峰高等学校  
第2学年発行 No. 9

## 「今は辛抱のとき・・・」

生きているうちにこんなに大変な社会状況がくるとは想像もしていなかった。自国が戦争に巻き込まれることは今後もないと信じているが、天変地異や疫病からは免れることはできなかった。思い起こせば、国内では神戸・淡路大震災、東日本大震災という大事件があったが、過去の歴史の中では何度も繰り返されていたとはいえ、自分たちが生きている世で疫病によって世界中がこのような状況になるとは思わなかった。

学校が3ヶ月も休校状態となり、再開後も学校行事は悉く中止や縮小、そしてついに修学旅行までも・・・。しかしこんな状況でも、本当はそれぞれが今の生活や今後の進路のことで不安やストレスを抱えているのではあろうが、自暴自棄になるような態度も見せず、欠席を繰り返す生徒もほとんどなく、普段どおりの生活のスタンスを崩していない2年生諸君の姿に感心している。自分が今、高校生だったら皆さんのような振る舞いでいられるのか、と言われると正直自信がない。

年が明けてから10ヶ月間、本当に遠出していない。どこにも行ってない。せいぜい、休日なのに本当に数人しか客がない映画館で何本かの映画を見たぐらいだ。「FUKUSHIMA50」はいい作品だったと思うが、普段なら絶対に見に行かないだろう「糸」なんかも見てしまった。悪くはなかったが、平成をテーマにしているのに挿入曲は思いっきり昭和じゃないか、と1人で突っ込みをいれてしまった。まあ今はGoToトラベルキャンペーンがあるとはいえ、医療機関・介護施設・学校等を職場にしている者は心理的に何となく利用しづらいものだ。そういえば10ヶ月間で外泊は1泊のみ、しかも急な腹痛での入院の1泊・・・病室の担当看護師は前任の高校で担任をしていた卒業生・・・笑われてしまい、恥ずかしい思いをした。ただ休校中に、きっと最初で最後になったであろう「在宅勤務」というものを10回近く経験したが、平日に誰もいない家に1人でいれることに、なぜかわくわくしてしまったことはちょっとだけいい思い出だ。

「自己研鑽」という名のもとに、1人（ここがポイント！）でプチ家出して遊び呆けられる日が戻ってくることが待ち遠しい。秩父宮ラグビー場、神宮球場、横浜スタジアムでの喧噪感が本当に懐かしい。「明けない夜はない」という言葉を信じ、みんながマスクを外して「あのときは大変だった」と笑って話せる日が来ることを待ちたい。

22H 副担任 横山 秀司

## 11月の行事予定

日	曜	日 程	行事
1	日		いしかわ教育ウイーク
2	月	B	
3	火	B	学校公開日 PTA役員会 等
4	水	B	
5	木	B	
6	金	B	
7	土		
8	日		
9	月	B	コース科目登録確定
10	火	B	
11	水	B	
12	木	A	県新人大会（後期）
13	金	A	
14	土		
15	日		
16	月		代休
17	火	A	面接週間④スタート
18	水	A	
19	木	A	
20	金	A	学習時間調査
21	土		
22	日		
23	月		勤労感謝の日
24	火		
25	水		
26	木	B	期末考査（～12/2）
27	金	B	
28	土		
29	日		
30	月	B	



Keep smiling, keep shining!

笑顔をやさず、輝き続ける生徒の道徳を毎日更新中

小松明峰高校

